

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和6年6月28日

【観測結果（調査日：6月21、24、25日）】

6月21日に伊勢湾北部、24日に南部、25日に渥美外海の観測を実施しました。

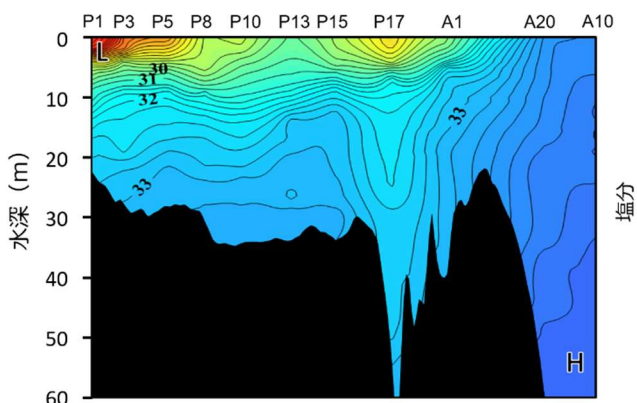
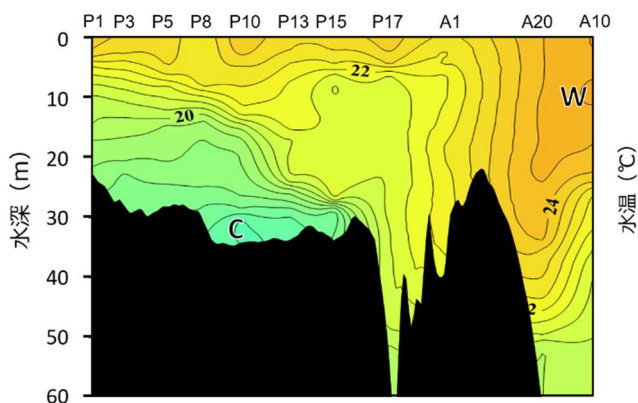
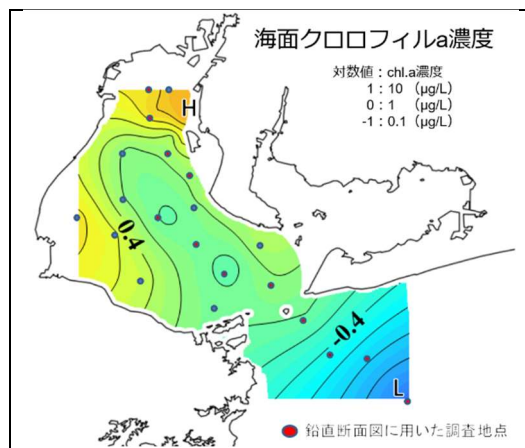
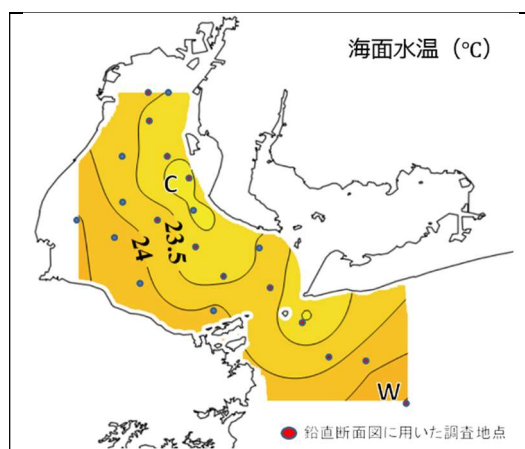
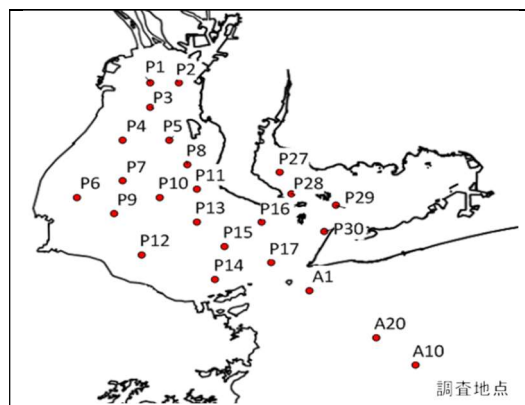
【水平分布（調査点：P1～A10）】

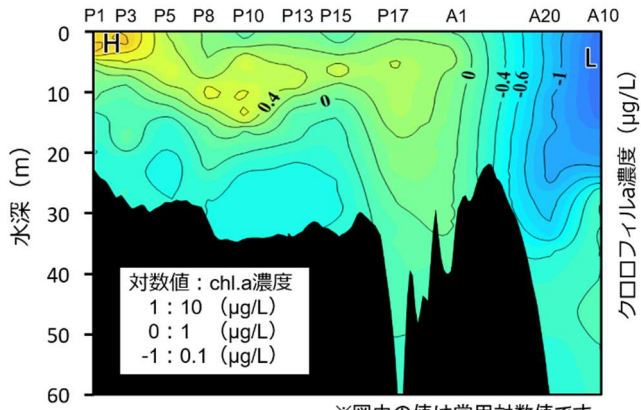
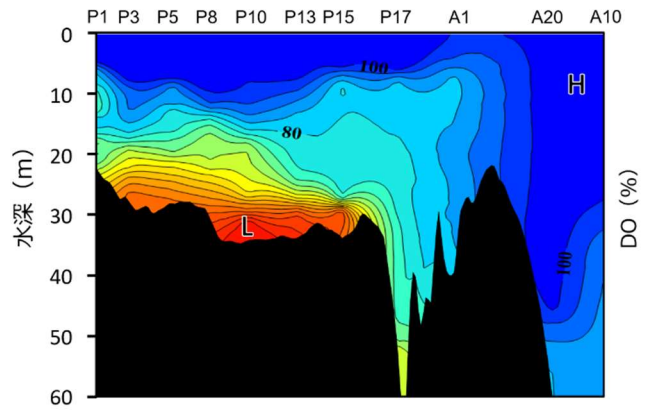
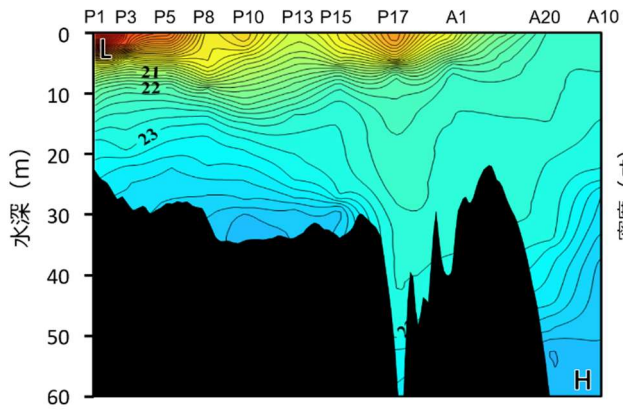
海面水温は、22.5℃から25.1℃となっており、伊勢湾中央部で最も低く、渥美外海が高くなっています。海面のクロロフィルa濃度は、伊勢湾の湾奥で高く、渥美外海で低くなっています。渥美外海は、黒潮系暖水の波及の影響で高水温かつ低クロロフィルa濃度の傾向となっています。

【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

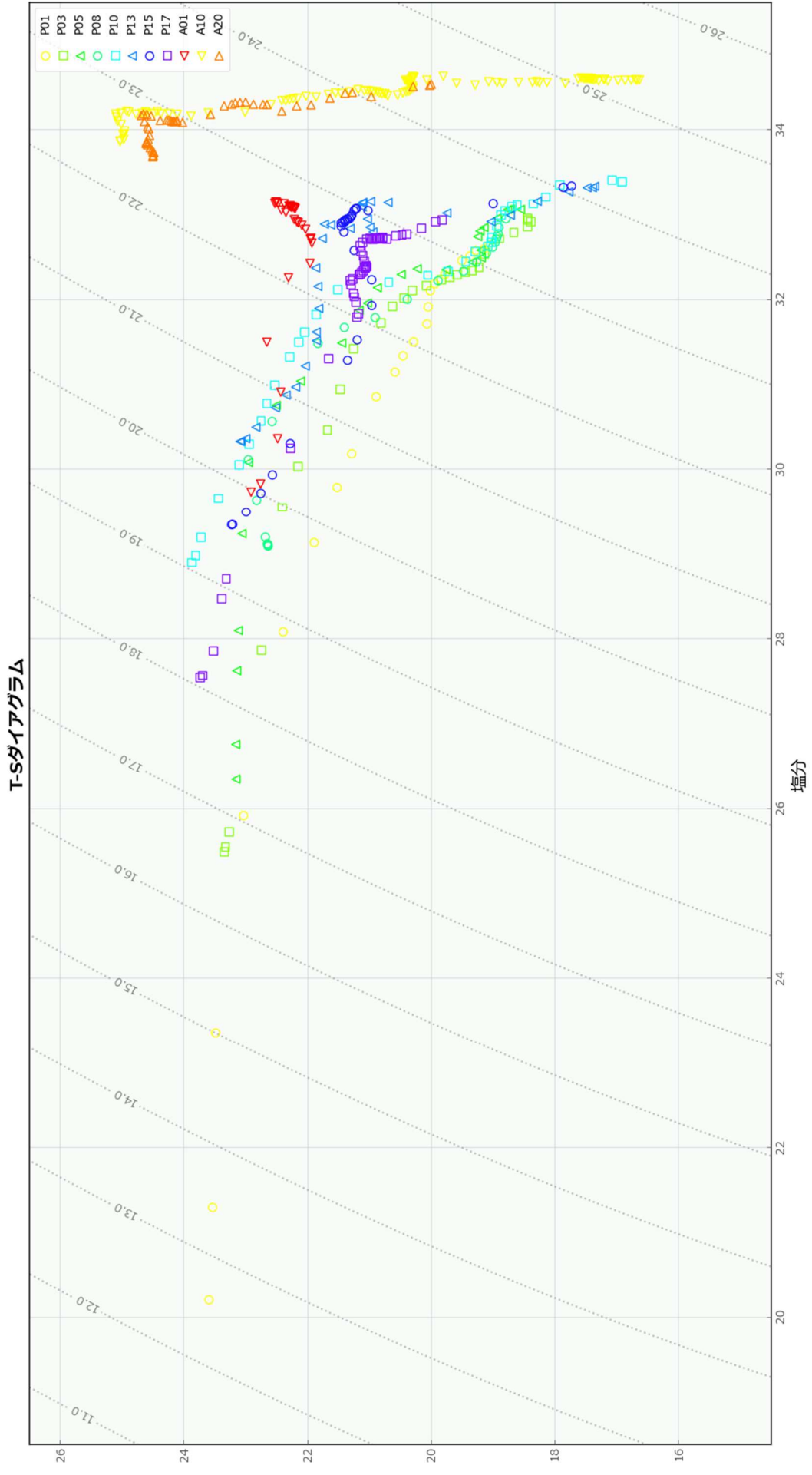
伊勢湾湾奥（P1）～湾口（P17）にかけて、表層は日射と河川からの淡水流入の影響で、高温低塩分の軽い水に覆われています。その結果、表層と底層の間で成層が発達し、酸素供給の乏しい底層では貧酸素水塊（溶存酸素濃度30%以下）が分布しています。

クロロフィルa濃度は湾奥部の表層にピークがあり、湾口に向けて水深10m付近に高濃度の水塊が帯状に広がっています。





※図中の値は常用対数値です



(c) 水温 (°C)